

1 総会に関する事項

令和6.5.28	午後2時から上野精養軒において第88回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。	
審議事項	第1号議案	令和5年度事業報告承認の件
	第2号議案	令和5年度決算承認の件
	第3号議案	令和6年度事業計画書報告の件
	第4号議案	令和6年度收支予算書等報告の件
	第5号議案	会員人事報告の件
	第6号議案	選定顧問報告の件
	第7号議案	理事・監事の改選承認の件
報告事項	令和6年度称号授与予定者報告の件	
	第10回日展巡回展開催報告の件	他

2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主な審議事項
令和 6. 5.10	第1回	<ol style="list-style-type: none">令和5年度・事業報告及び決算承認の件選定顧問承認の件理事・監事の改選の件令和6年度 名誉会員及び特別会員 称号授与予定者承認の件第11回日展 開催要綱承認の件第11回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件会友資格喪失者承認の件 <p>報告事項</p> <p>理事長、副理事長の職務執行状況について 退会者、準会員辞退者及び会友辞退者について 第10回日展巡回展入場者数について 第10回日展巡回展神戸会場 決算書について 改修後の大阪市立美術館における巡回展開催について</p>
令和 6. 5.28	第2回	<ol style="list-style-type: none">理事長・副理事長の選定の件
令和 6. 7.19	第3回	<ol style="list-style-type: none">資産取得資金（修繕積立預金）の取崩し承認の件日展運営委員会の新委員選考承認の件第11回日展審査員・係承認の件大臣賞等選考委員会の委員承認の件 <p>報告事項</p> <p>会友辞退者について 令和6年能登半島地震被災者支援のための寄附金受領について アートシティ富士五湖プロジェクト「日展の美」展開催について</p>
令和 6. 10.31	第4回	<ol style="list-style-type: none">会友資格喪失者承認の件第11回日展巡回展基本選定作品承認の件第11回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件

令和 7. 3.19	第 5 回	報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 閉会パーティーについて 退会者及び会友辞退者について 1. 令和7年度日展 関連事項承認の件 展覧会 開催回数の表記について 会期・観覧時間及び入場料金について 出品手数料について 出陳者内覧会について 各科出品者懇親会について 開会式・テープカットについて オープニング・パーティーについて 授賞式について 会期中のイベントについて 巡回日程(案)について 2. 審査員宿泊料の改定(案)承認の件 3. 日展会館会場貸出料及び工芸台貸出料の改定(案)承認の件 4. 会員人事承認の件 5. 準会員人事承認の件 6. 会友人事承認の件 7. 令和7年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件 8. 定時総会日時及び予定議案承認の件 報告事項 日展会館大規模修繕工事の完了について 新公益法人制度（令和7年4月1日～）について 和光「第9回 美の魅け一日展の現代一」展について

3 監 事 会 に 関 す る 事 項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 5.10	第 1 回	1. 令和5年度事業報告及び決算承認の件

4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 7. 2	第 1 回	1. 審査員候補者の選考承認の件

5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 8. 9	第 1 回	<ol style="list-style-type: none">展示室各科割り振りに関する件入場料金に関する件入場券および招待状等印刷物承認の件特別入場券販売促進に関する件「日展目録」表紙承認の件各科展覧会打合せ会承認の件搬入受付係とアシストに関する件出品者懇親会に関する件事務日程に関する件各科展覧会の記録に関する件その他

6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 9. 30	第 1 回	<ol style="list-style-type: none">各科審査主任承認の件日展審査員行動基準（ガイドライン）等の確認、審査方針承認の件他

7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 10. 31	第 1 回	<ol style="list-style-type: none">内閣総理大臣賞の件文部科学大臣賞の件

8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 10. 31	第 1 回	<ol style="list-style-type: none">東京都知事賞の件

9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 6. 10. 31	第 1 回	<ol style="list-style-type: none">日展会員賞の件

10 委員会等に関する事項

委員の就退任等に関する事項

令和 6. 7.19 令和6年度第3回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

[日展運営委員会]

福田千恵 佐藤哲 山田朝彦 春山文典 高木聖雨

令和 7. 5.13 令和7年度第1回理事会において、委員会組織再編について協議し、下記を決定した。

- ・出版委員会の廃止
- ・日展ニュース委員会の名称を「出版・編集委員会」に変更

令和 7. 5.13 令和7年度第1回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(令和7～8年度委員)

[諮問委員会]

(外部委員) ※職名・肩書は令和7年5月現在

秋元雄史（東京藝術大学名誉教授）
梅崎壽（東京地下鉄株式会社名誉顧問）
黒川廣子（東京藝術大学大学美術館館長）
島谷弘幸（皇居三の丸尚蔵館館長）
室伏きみ子（お茶の水女子大学名誉教授）

(内部委員)

米倉正美 平野行雄 勝野眞言 相武常雄 田中徹夫

[出版・編集委員会（旧・日展ニュース委員会）]

亀山祐介 西田眞人 浅見文紀 松野 行 野原昌代 堀内秀雄
上原利丸 古瀬政弘 歳森芳樹 山本大悦

[広報委員会]

長谷川喜久 間瀬静江 石田宗之 寺久保文宣 寺山三佳 中原篤徳
林香君 村田好謙 佐々木宏遠 吉澤鐵之

諮問委員会

令和6年度における会合は1回開催

(第1回) 令7.4.9 ※都合により令和7年度に入ってからの開催となった。

主な審議事項

1. 第11回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。
(第1回)
2. これからの中日展（公募展）の在り方について、意見交換を行った。（第1回）

日展運営委員会

令和6年度における会合は2回開催

(第1回) 令6. 4. 25・(第2回) 令7. 2. 5

主な審議事項

1. 資産取得資金（修繕積立預金）の取崩しについて協議、検討した。（第1回）
2. 令和5年度決算関連事項について協議、検討した。（第1回）
3. 「日本美術展覧会」開催回数の表記について、令和7年度より明治40年第1回文展からの通算回数で表記し「第118回日展」とする案を協議、検討し、理事会に諮ることを確認した。（第2回）
4. 開催要綱案について検討した。（第2回）
5. 日展名誉総裁の人選等について意見交換を行った。（第2回）
6. 令和7年度日展事業予算案について協議、検討した。（第2回）

日展ニュース委員会

令和6年度における会合は4回開催

(第1回) 令6. 5. 29・(第2回) 9. 10・(第3回) 11. 15・(第4回) 12. 9

主な審議事項

1. ニュース187号の寄稿文「各地からの出品者の思い」各科入選者1名 計5名、「作家人生－私の仕事－」2名、「新会員より」の校正を行った。（第1回）
2. ニュース188号の掲載内容を検討した。（第1回）
3. ニュース189号の座談会について協議した。（第1回）
4. ニュース188号の進捗状況について報告した。（第2回）
5. ニュース188号の寄稿文「各科審査員」各科3名 計15名、「日展ゆかりの美術館散策」の校正を行った。（第2回）
6. ニュース189号の掲載内容を検討した。（第2回）
7. ニュース189号の座談会のテーマ、構成、出席者を検討した。（第2回）
8. ニュース189号の座談会の進行等を確認した。（第3回）
9. ニュース189号の進捗状況について報告した。（第3回）
10. ニュース189号の座談会を開催した。（第3回）
11. ニュース189号「座談会」、寄稿文「新入選者－喜びと抱負－」各科3～6名 計18名の校正を行った。（第4回）
12. ニュース190号の掲載内容を検討した。（第4回）

出版委員会

令和6年度における会合は2回開催

(第1回) 令6. 9. 4・(第2回) 10. 31

主な審議事項

1. 本年度の事業計画を踏まえて、第11回日展刊行物およびオフセット印刷絵はがき・カラー写真について協議し、内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。（第1回）
2. 前回まで1業者でおこなっていた作品撮影は、今回から3業者に分けておこなうものとし、各社の見積金額を承認した。（第1回）
3. オンデマンド印刷絵はがきの注文状況を報告し、今回の見積金額を承認した。（第1回）
4. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。（第2回）
5. 各科「日展図録」の色校正・レイアウト確認を行った。（第2回）

広報委員会

令和6年度における会合は6回開催

(第1回) 令6.4.19・(第2回) 4.25・(第3回) 6.5・(第4回) 7.17・(第5回) 9.9・(第6回) 令7.3.7

※第1回及び第4回は小委員会

主な審議事項

1. 第11回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
2. 日展作家インタビューについて検討した。(第1回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回・第3回)
4. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回・第3回)
5. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第3回)
6. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
7. 各科審査主任による授賞作品解説撮影について打合せをした。(第4回)
8. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第5回)
9. 第11回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第5回)
10. 第11回日展のイベント企画案について検討した。(第5回)
11. 令和6年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容及び実績について報告、問題点を検討した。(第6回)
12. 令和7年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第6回)

アートプロジェクト

令和6年度における会合は1回開催

(第1回) 令6.5.2

主な審議事項

1. 令和6年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」)を検討した。(第1回)

アートプロジェクトの令和7年5月1日現在のメンバー(オブザーバー含む)は下記の通り。

[アートプロジェクト]

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	佐藤 哲
茅野 吉孝	桑原 富一	佐藤 祐治	田中 里奈	田辺 知治	前田 潤
山田 朝彦	寺山 三佳	中原 篤徳	廣川 政和	山崎 茂樹	吉岡 徹
相武 常雄	青木 宏憧	上原 利丸	林 香君	福富 信	小畠 泰明
高木 聖雨	井上 清雅	植松 龍祥	岩井 秀樹		

11 「日本美術展覧会」の開催

第11回日本美術展覧会

1. 会期 令和6年11月1日より11月24日まで 21日間

〔休館日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

2. 会場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	335 (-8)	1,375 (-88)	83 (-12)	592 (-13)	8,662 (-160)	11,047 (-281)
入選点数	159 (-6)	539 (-51)	58 (-10)	465 (+31)	1,114 (+2)	2,335 (-34)
新入選点数	16 (-9)	49 (-9)	10 (-7)	36 (+5)	163 (-3)	274 (-23)

新入選点数は入選点数に含む。

4. 陳列点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入選	159 (-6)	539 (-51)	58 (-10)	464 (+30)	1,114 (+2)	2,334 (-35)
無鑑査	133 (+1)	120 (-2)	140 (-6)	112 (-6)	143 (-2)	648 (-15)
計	292 (-5)	659 (-53)	198 (-16)	576 (+24)	1,257 (±0)	2,982 (-50)

無鑑査=顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 宮田 亮平

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審 査 員	建畠 哲 若松 基	潮江 宏三 森 忠行	太田垣 實 関根 秀一	片山 まび 高橋 秀治	惠美千鶴子 富田 淳
	土屋 禮一 ◎渡辺 信喜 手塚 恒治 曲子 明良 山下 保子 伊東 正次 大豊 世紀 桑野むつ子 佐藤 俊介 士農 力 仲島 昭廣 野田 夕希 山本 隆 猪熊 佳子 畠中那智子 松永 敏 行近壯之助	◎佐藤 哲 町田 博文 大谷 喜男 熊谷 有展 田辺 知治 寺久保文宣 大渕 繁樹 岡本 猛 鍵主 恭夫 小関 修一 阪脇 郁子 田中 里奈 前田 潤 松野 行 渡邊 裕公 中土居正記 二宮 弘一	神戸 峰男 ◎宮瀬 富之 山田 朝彦 齋藤 尤鶴 青山 三郎 勝野 眞言 嶋畑 貢 山崎 茂樹 上床 利秋 徳安 和博 原田 裕明 廣川 政和 堀 龍太郎 楳野 仁一 切原 勇人 前田 真里 三上 健治	◎春山 文典 吉賀 將夫 桑原 紀子 叶 道夫 木下 五郎 武腰 一憲 藤田 仁 前川 正治 安藤 工 勝 孝 小林 英夫 曾根 洋司 田中 嘉生 西片 正 村田 好謙 西 緑 森 克徳	土橋 靖子 ◎星 弘道 牛窪 梢十 永守 蒼穹 有岡 郷崖 日比野博鳳 吉川美恵子 佐々木宏遠 田頭 央渢 野田 杏苑 野田 正行 吉澤 大淳 岩村 節廬 大田 鵬雨 佐井 麗雪 松村 博峰 山口 啓山

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	○手塚 恒治 曲子 明良 山下 保子 伊東 正次 大豊 世紀 桑野むつ子 佐藤 俊介 士農 力 仲島 昭廣 野田 夕希 山本 隆 猪熊 佳子 畠中那智子 松永 敏 行近壯之助	大谷 喜男 熊谷 有展 ○寺久保文宣 岡本 猛 鍵主 恭夫 小関 修一 阪脇 郁子 田中 里奈 前田 潤 松野 行 渡邊 裕公 中土居正記 二宮 弘一	齋藤 尤鶴 青山 三郎 ○勝野 真言 嶋畑 貢 山崎 茂樹 上床 利秋 徳安 和博 原田 裕明 廣川 政和 堀 龍太郎 楳野 仁一 切原 勇人 前田 真里 三上 健治	桑原 紀子 叶 道夫 木下 五郎 ○武腰 一憲 藤田 仁 前川 正治 安藤 工 勝 孝 小林 英夫 曾根 洋司 田中 嘉生 西片 正 村田 好謙 西 緑 森 克徳	○土橋 靖子 牛窪 梢十 永守 蒼穹 有岡 郷崖 日比野博鳳 吉川美恵子 佐々木宏遠 田頭 央渢 野田 杏苑 野田 正行 吉澤 大淳 岩村 節廬 大田 鵬雨 佐井 麗雪 松村 博峰 山口 啓山

6. 授 賞

大臣賞	第1科	文部科学大臣賞	能島 浜江	樹の一本は一つの木
	第2科	文部科学大臣賞	寺久保文宣	ECHO—裸婦と猫—
	第3科	内閣総理大臣賞	上田 久利	風のおと—萌し—
	第4科	内閣総理大臣賞	武腰 一憲	月の器・帰路
	第5科	内閣総理大臣賞	田中 徹夫	花の姿

東京都知事賞	第1科	手塚 恒治	五月の風に
	第2科	田中 里奈	人生設計
	第3科	青山 三郎	時の流れに
	第4科	叶 道夫	黎 紅
	第5科	歳森 芳樹	袁凱詩

日展会員賞	第1科	佐藤和歌子	ゾロモンの指環
	第2科	西田 伸一	9月・なごり
	第3科	寺山 三佳	空
	第4科	横山喜八郎	沼の水中木
	第5科	岡野 楠亭	重雍襲熙

特 選

第1科	熱田 守	猩 猩	稻田 雅士	静かな夜に
	笠川 武史	街	北川由希恵	刻々
	木村 友彦	時の訪問者	工藤 彩	ラビットホール
	黒岩 知里	01(ゼロイチ). Binary	前川 和之	結びつき
	俣田 千尋	やわらかな峰々	森 花	風の色
第2科	金築 秀俊	GYM	久保 尚子	garden
	佐藤 淳	アヴェ・マリア	関野 智子	青嵐
	田辺 康二	遼遠	福田 次子	山林
	山内 大介	プロヴァンスの道	山本 佳子	支度
	結城 唯善	臘 梅	吉成 浩昭	Biblio bibuli
第3科	井上 智	はなびら	酒井 華	テディベア
	志村ひろこ	ベルベットの月	竹内 晋平	残闕
	田原迫 華	彼岸花	宮地 淑江	海へ
第4科	井上絵美子	芽ぐむ	大西 重広	風にのって
	木本 一之	α神殿	葛井 保秀	Departure 出発
	近藤 学	象嵌彩 晩秋の夕暮れ	下村 純子	Aqua・屋久島
	竹河いみ子	濤	戸出 克彦	光の雨
	富岡 大資	始まり	西川 勝	月の稜線
第5科	赤澤 寧生	紅蓮の炎	井上 邦子	み吉野
	小野 玲華	つくづくと	雲山 一弦	猿聲詩
	小林 千早	范石湖詩	谷口 成孝	稻妻
	辻 敬齋	蟠屈擎攫	平樂 大龕	高青邱詩
	宮本 耕成	斂 藏	森上 洋光	莊巖

7. 入場者数 合計 82,485人 (21日間)

() 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	11,529 (+1,053)	招 待 券	30,421 (-1,749)
トワイライトチケット (一 般)	2,969 (+264)	小中学生無料鑑賞券	3,505 (-600)
一般券 (場外売)	337 (+26)	学生 (高・大) 無料	3,628 (-414)
一 般 団 体 券	74 (-700)	資 格 証	16,034 (-3,468)
一 般 前 売 券	1,734 (+294)	優 待 証	975 (-119)
特 別 入 場 券	10,686 (-453)	美術家連盟・評論家連盟	370 (-49)
新聞販売店用チケット	223 (-103)		
計	27,552 (+381)	計	54,933 (-6,399)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/31	木	3,277	11/13	水	3,739
11/1	金	5,149	11/14	木	3,998
11/2	土	2,994	11/15	金	3,172
11/3	日・祝	3,348	11/16	土	4,375
11/4	月・休	2,959	11/17	日	5,080
11/5	火	休館日	11/18	月	4,136
11/6	水	2,277	11/19	火	休館日
11/7	木	2,402	11/20	水	3,482
11/8	金	2,328	11/21	木	3,661
11/9	土	3,331	11/22	金	4,307
11/10	日	3,693	11/23	土・祝	6,514
11/11	月	2,904	11/24	日	5,359
11/12	火	休館日		計	82,485

※10/31は出陳者内覧会

巡回日展

第11回展分を3会場で開催。（第10回展分の金沢会場は、令和6年能登半島地震の影響に鑑み、開催中止）

	開催地	開催期間	会 場	開 催 者	入場者数(人)
第 10 回 展	金 沢	R 6. 6. 1～ 6. 23 開催中止	石 川 県 立 美 術 館	北 國 新 聞 社	—
第 11 回 展	京 都 名 古 屋 神 戸	R 6. 12. 21～R 7. 1. 18 R 7. 1. 22～ 2. 9 2. 15～ 3. 23	京都市京セラ美術館 愛知県美術館ギャラリー 神戸ゆかりの美術館 神戸フアッショソ美術館	日展京都展実行委員会 中部 日 展 会 神戸市・公益社団法人日展 神 戸 新 聞 社	23,905 31,050 34,963

12 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料) (※整理券配布)

開催日時	時間	講堂でのイベント
11月2日 (土)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	(日本画) 映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者(大臣賞・都知事賞・会員賞・特選) 能島浜江・手塚恒治・佐藤和歌子 熱田 守・稻田雅士・笠川武史・北川由希恵・木村友彦・工藤 彩 黒岩知里・森 花 (司会・進行) 士農 力 映像による作品解説(今年度審査員より) 今年度審査員 猪熊佳子・佐藤俊介・松永 敏・行近壯之助 (司会・進行) 士農 力
11月4日 (月・振休)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	(洋画) 座談会「今年度審査主任と特選受賞者による座談会」 今年度審査主任 佐藤 哲 今年度受賞者(特選)久保尚子・田辺康二・山内大介・山本佳子・結城唯善 座談会「今年度審査員と新入選者による座談会」 今年度審査員 町田博文 今年度新入選者 鎌田義人・永田秀孝・松永佳江 (司会・進行) 寺久保文宣
11月9日 (土)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	(彫刻) 第11回展の見どころ 今年度審査員 知つて得する彫刻散歩—鹿児島編 ～西郷、大久保像の秘密と仏教の救世主の話～ 野添浩一 彫刻女子「コスチュームの表現と着色について」語る 中村優子・野原昌代・堀内有子・安田陽子 (司会・進行) 寺山三佳
11月16日 (土)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	(工芸美術) 今年度審査員が選ぶ新鋭作品 今年度審査員 叶 道夫・村田好謙 映像による作品解説「自作を語る」 今年度審査主任 春山文典 今年度審査員 田中嘉生・曾根洋司 今年度受賞者(大臣賞・都知事賞・会員賞・特選) 武腰一憲・叶 道夫・横山喜八郎 井上絵美子・大西重広・木本一之葛井保秀・竹河いみ子・富岡大資 (進行) 曾根洋司 (司会) 武腰一憲
11月23日 (土・祝)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウムによる討論会「日展の書」 出席者 有岡郊崖 佐々木宏遠 永守蒼穹 日比野博鳳 吉澤大淳 岩村節蘆 (司会・進行) 有岡郊崖 映像による作品解説「書」 解説者 木村通子 森嶋隆鳳 綿引滔天 (司会) 井上清雅

※参加人数 498名(5日間 座談会3回、シンポジウムによる討論会2回、作品解説2回)

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一步近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋 画	彫 刻	昼 食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月13日 (水)	伊東正次	浅見文紀				
11月18日 (月)	諸星美喜	久保博孝	吉居寛子		吉澤鐵之	司辻光男

◆参加人数・・・16名（会期中の2日間、全2回 11/13は希望により2部門、11/11は希望者少數のため中止）

ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 第11回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・468名参加（10日間）

13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

		指導者				
		日本画	洋画	彫刻	工芸美術	書
11月3日 (日)	午前 10:30～	能島浜江 丸山 勉 米田 実	天野富美男 桑原富一 渡邊 明 小川満章			井上清雅 河西樸堂 吉澤劉石
	午後 2:00～			中原篤徳 寺山三佳 吉岡 徹 鈴木紹陶武 廣川政和 前田真里	川口 满 武田 司 山口和子 岩淵浩之 斎藤卯乃 中島敦子	
11月10日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 稻田亜希子 安田敦夫	井上 武 菊池元男 前原喜好 佐藤祐治			歳森芳樹 岡野楠亭 岩井秀樹
	午後 2:00～			中村優子 吉岡 徹 堀内有子 上田ふみ 小関良太 三上健治 (サポート) 山田朝彦	安藤 工 曾根洋司 林 香君 福富 信 森 克徳 村山恵子	
11月17日 (日)	午前 10:30～	川田恭子 野田夕希 森 美樹	田辺知治 前田 潤			植松龍祥 野田杏苑 岩村節蘆
	午後 2:00～			原田治展 村山 哲 安田陽子 切原勇人 境野里香 (サポート) 吉岡 徹	兼先恵子 安藤タヅ子 上原利丸 田中嘉生 西 緑 平林芳子 山本恭子 (サポート) 林 香君	

◎総参加人数 81組 206名

わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 394通

夏休み1日ART体験「第19回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月17日から8月21日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさん的人が訪れた。

※共同制作の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月21日 (日)	彫刻	吉岡 徹 中原篤徳 廣川政和 寺山三佳 (サポート) 堀内有子 鈴木紹鷗 安田陽子 境野里香 (オブザーバー) 山田朝彦	13:30 ～ 16:00	37組 60名	・『私の好きな〇〇』 —好きな生き物ややってみたいこと、〇〇を考えてみよう— ●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。 ●(子供) 芯棒で形を作り、紙粘土でイメージした形の肉付けをする。 ●吊るすための金具を取り付ける。 ●講評。片付け。 ●(中学生・保護者) テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。
7月27日 (土)	工芸美術 (金工・七宝)	小畠泰明 勝 孝 田中照一 中村三喜雄 古瀬政弘 石黒美男 手銭吾郎 (サポート) 林 香君	13:30 ～ 16:00 ※希望者 多数のた め、午前と 午後2回開 催	42組 56名	・『私だけのペンダント』 ・金工と七宝の技法を使って ペンダントヘッドやキー・ホルダーをつくる。 ●金工と七宝の技法と特徴を説明。 ●鑿による打刻方法で、2cm角の銀のプレートに模様を制作。ひもを通す穴をあける。 ●凹み部分に好きな色の七宝釉薬を入れる→乾燥→焼成。 ●穴にひもを通し完成。 ●講評、片付け。

7月28日 (日)	洋画	田辺知治 桑原富一 佐藤祐治 田中里奈 前田 潤 茅野吉孝 (オブザーバー) 佐藤 哲	13:30 ～ 16:00	25組 37名	<ul style="list-style-type: none"> ・『どんな顔だろう?』(油彩) ●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。 ●作家のデモンストレーション ●F4のキャンバスを使い、鏡を見ながら自分の顔を木炭でスケッチ。 ●油彩で着色。 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●額に入れてみる。講評。片付け。
8月3日 (土)	書	井上清雅 綿引滔天 植松龍祥 岩井秀樹 (サポート) 角田大壤 松浦龍坡 尾花太虚 滑田耀齋 (オブザーバー) 高木聖雨	13:30 ～ 16:00	23組 34名	<ul style="list-style-type: none"> ・『毛筆文字に親しもう!』 ・木の板に好きな文字を書く。 自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。 ●木の素材に自分の名前や好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。 ●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●オリジナル切手用に一文字の作品を仕上げる。 ●講評。作品撮影。片付け。 ●後日(→つくった作品を切手に)
8月4日 (日)	日本画	亀山祐介 川田恭子 能島浜江 岩田壮平 (サポート) 野田夕希 安田敦夫 櫻井伸浩	13:30 ～ 16:00	22組 44名	<ul style="list-style-type: none"> ・『涼しい絵』 ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法を学ぶ。 ●制作の工程を説明。 作家のデモンストレーション ●色紙に、各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす ●掛け軸風に用意した「たとう」の台紙に作品を接着する。 ●講評。片付け。 ○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。

	実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル
日本画	『空想の花を描く』 <ul style="list-style-type: none"> ●はがき大の和紙に、それぞれが想像した花を描く。 ●担当作家が描いたバックに、麻紙ボードを貼っていく。
洋画	『それぞれの平和』 <ul style="list-style-type: none"> ●油彩で0号のキャンバスボードに「平和」のイメージを描く。 ●作家が描いた背景に、キャンバスボードを貼っていく。
彫刻	『たのしい虫の世界』 <ul style="list-style-type: none"> ●自分の想像した虫をカラフルな粘土やビーズなどの材料を取り混ぜて制作する。 ●作家の用意した背景のパネルに「虫」を取り付ける。
工芸美術 (金工・七宝)	『みんなつながろう!』 <ul style="list-style-type: none"> ●金属の造形性を経験するために、共同制作の『みんなつながろう!』というテーマで、各々が金床の上で鑿を使い打刻して自然に曲がる形を利用し、「O」型や「S」型を制作。鎖のパーツを作り、つなげる ●輪を組み合わせて鎖にし、つないで一つの作品にする。
書	『筆と友だちに』 <ul style="list-style-type: none"> ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 97組 173名

14 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（令和6年度中に刊行または印刷）

第11回日展目録

- [判型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
[発行日] 令和6年11月1日
[発行部数] 2,500部
[定価] 100円 [税込]
[内容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
[表紙] 神戸峰男
[製作] 株式会社新協

第11回日展作品集

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）152頁 570点掲載
[発行日] 令和6年11月1日
[発行部数] 2,300部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
作家名・作品題名の英訳(巻末)、諸資料掲載
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文(書)掲載 40頁
[表紙] 土屋禮一・藤森兼明・神戸峰男・宮田亮平・真神巍堂（出品作・部分）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（日本画）

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 292点掲載
[発行日] 令和6年11月6日
[発行部数] 1,400部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名・英訳付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表紙] 土屋禮一（出品作）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（洋画）

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）136頁 659点掲載
[発行日] 令和6年11月6日
[発行部数] 2,400部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名・英訳付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表紙] 藤森兼明（出品作）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（彫刻）

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）52頁 198点掲載
[発行日] 令和6年11月6日
[発行部数] 500部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名・英訳付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表紙] 神戸峰男（出品作）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（工芸美術）

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）120頁 577点掲載
[発行日] 令和6年11月6日
[発行部数] 1,200部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名・英訳付)、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載
[表紙] 宮田亮平（出品作）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（書）

- [判型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）220頁 カラー204点、モノクロ1,053点、合計1,257点掲載
[発行日] 令和6年11月6日
[発行部数] 3,300部
[定価] 3,400円 [税込]
[内容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録
作家名・作品題名(読み仮名・英訳付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表紙] 真神巍堂（出品作）
[製作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

- [判型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）
[定価] 400枚単位—25,000円[税込] （売店販売定価1枚—150円[税込]）
[製作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式会社

カラー写真

- [判型] キャビネサイズ（12.7cm×17.8cm）
[定価] 10枚単位—6,600円[税込] （売店販売定価1枚—400円[税込]）
[製作] ツツラボ

日展ニュースの発行

第187号	令和6年6月30日発行	発行部数 19,500部
第188号	令和6年9月30日発行	発行部数 20,000部
第189号	令和7年2月17日発行	発行部数 19,600部

15 美術に関する研究及び調査

日展会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第17回プラチナアート大賞展2024	絵画作品	令和6年 5月24日～5月26日	日展会館
慶應義塾中等部 美術部 OB・OG・現役展	絵画作品	令和7年 1月16日～1月19日	日展会館
公募 日本の絵画2024	絵画作品	令和7年 3月8日～3月9日	日展会館
第4回スケッチ研究会作品展	絵画作品	令和7年 3月14日～3月16日	日展会館

(会議・研究会・教室等 使用団体)

一般社団法人 新極美術協会
芥子園研究会
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会
公益社団法人 日本彫刻会
秀彩会
新日春会
スケッチ研究会
東京地区合同絵画研究会
永井画廊
日本美術研究授業
白日会
蒔絵の会

(令和6年度会館スペース貸出収入) *金額は税込

合計 1,397,700円 前年度比 +390,600円

[自主企画展]

会館スペースを利用して、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第19回Oneday Art 作品発表会	ワンディアート参加者の 制作による日本画・洋画・ 彫刻・工芸美術・書作品	令和6年 8月17日～8月21日	日展会館